

ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり



おおひら

アシストネットだより

～未来を担う栃木市の子どもたちを地域ぐるみで育てよう～

栃木市では、子どもたちは次世代を担う地域の宝であるとの認識のもと、子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域の連携・協力により『アシストネット事業』を展開し、地域ぐるみで子育てを推進しています。今年度の取組については、以下のとおりです。

今年度の主な取組

【大平東小】



6年生が「和紙ちぎり絵」の体験を行いました。講師としてお世話になったのは、地域コーディネーターさんから紹介いただいた「栃木市文化マイスター」6名。子どもたちは、自分で選んだ絵柄を熱心に制作していました。

【大平南小】



4年生が大平水代消防団の皆さんから地域の防災を学びました。消防服を着て訓練する子どもたちの表情はどの子も真剣でした。講話や防災訓練を通して、安全を守るために身近な人たちが働いていることが分かったようです。

【大平西小】



毎年5年生は、地元環境保全会の皆さんのお力添えを得て、「お米作り」の貴重な体験学習を行っています。種蒔き―田植え―稲刈り―脱穀、ボランティアの方々に教わりながら、お米一粒一粒のありがたさを感じることができました。

【大平中央小】



「おはなしたまてばこ」の皆さんに、読み聞かせをしていただいています。感染症対策の中、適切な距離を保ち、書画カメラを使ってテレビモニターに絵本を映しています。対象学年や季節に合わせた内容に、子どもたちは毎回読み聞かせを楽しんでいます。



【大平中】



合唱コンクールの実施に向けて、地域の音楽家の方に3年生が合唱の指導をしていただきました。曲の表現方法を分かりやすく伝えていただき、生徒たちの合唱コンクール本番に向けての意欲が高まりました。

【大平南中】



書道の時間に地区作品展への作品作り、専門性の高い指導の提供を目指して実施しました。講師の先生方の細やかで専門性の高い指導により、生徒の作品の質が一段と向上しました。また、水泳の授業でも同様に専門性を高めて短い授業時間を有効に活用することで、子ども達も先生方も充実した時間になっています。

【感謝状受賞】

これまでの大平地域における学校支援ボランティア活動が、児童生徒の健全育成に貢献したと認められ、県教育委員会から大平アシストネットに感謝状が贈られました。大平アシストネット地域教育協議会副会長の柳田和子氏が令和4年10月25日、栃木県公館で感謝状を受けました。



この表彰を糧に、今後も学校の様々な活動に学校支援ボランティアの方々、参加協力して、子どもたちの学習の充実を図るとともに、地域コミュニティの再構築・絆づくりを目指します。

ボランティア募集

子どもたちの学びを豊かにする学校でのボランティア活動に興味のある方は、大平公民館までお問い合わせください。

【大平地域アシストネット教育協議会事務局】

栃木市地域振興部大平地域づくり推進課公民館係（大平公民館）

0282-43-5231